

Infinity

コンセプト

頭の上の星空はいつも僕に注目している：人間はまだ出会っていない世界が広すぎて想像できない。人間は地球からはなれることさえできない。リビングで自分だけの宇宙を再現して、天体望遠鏡と心の望遠鏡で星を観る、謎に包まれる宇宙を考える。ちょっと横になって、世の繁雑を忘れて、生命の意義や営みを考え、そして宇宙からの訪問者を待っている。



天井に穴を穿ち、昼間穴の下に立つ。穴から入った光はまるで暗いところに存在する神たちが自分を注視している。宗教を信仰する人の気持ちが何となく分かってきた。



金属片を天井から細い線で下まで吊る。上から照明かあって、金属片が照らされたら、きらきらになって、幻想的な空間を生み出す。このリビングそのものが宇宙として、設えた金属片は星雲を表す。

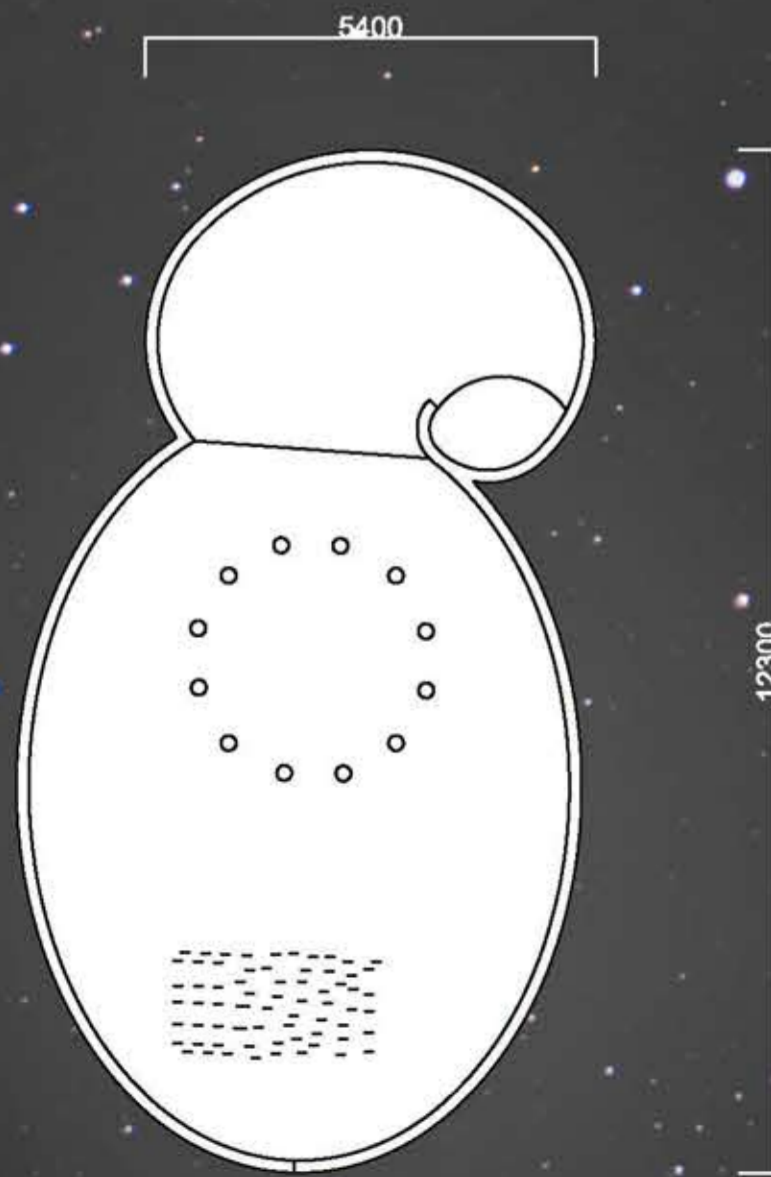
宇宙には高い知能指数を持っている生物は人しかいなかったら、あまりにも寂しすぎる。幸いにも、宇宙は広い。テーブルにいいお酒を用意した。異星人を待って、私たちの知らない星のことを教えてもらう。



Grey



Naples Yellow



平面図 1:100

黄金分割を利用した。多くの有名な建築物は黄金分割を意識して作り上げられた。黄金分割は人間が発見して美意識を刺激する人間の知恵を象徴でもある。

黄金分割+楕円

黄金分割と楕円を組み合わせ、無限な記号を作ってみた。

$\infty + x = \infty$ どんなものが無限に入っても、無限は無限

$\infty \div x = \infty$ 無限は何倍縮小しても、無限は無限

このリビングに入ると、宇宙を体験できる。



二階のスラブの先端にライトをつける、スラブに座る時、すべてを消し去る黒い闇しか見えない。この時、人は孤独感に苛まれる。僕にとって、この孤独感が必要で、自分を見つめなおす重要な時間なのだ。人間は花火のように、火花を散らし、上昇、花を咲かせ光り輝く。そしてすべては一瞬で終る。いかにきれいに咲けるかを考える必要があると思う。自分がどのような人生を過ごすか考えないと、安易な人生になってしまう。

夜、ライトの下にたると、舞台に立てるように、舞台の下に照明が消された、観衆が自分の演じを待っている。百年の時間で、人生をうまく演出する。